

まいど！ 店長 くらだの きまぐれ コラム

【「運」と「努力」の関係とは？】

日経MJで10年間、延べ650社以上の売れる話を取材してきた竹内謙礼さんのメルマガをよく読んでいますが、商売する上での「運」についてこんな一説がありました。

※以下メルマガより引用

～売れる商品に巡り合うのは「運」であるのは間違いないのですが、その「運」が世の中の人に平等に分け与えられていない以上、「運」が人並以下の多くの人は、知識だったり、方法論だったり、人との出会いだったり、「運」がいい人に負けないぐらいの、努力をする必要があったりするんですね。

しかし、多くの人が「運」のいい人の、成功体験談にしか耳を傾けていないので、安易に自分の都合のいい部分だけ「運」のいい人の真似をしてしまい、結果、深く考えず、時間とお金の使い方も中途半端になってしまい、いつまで経っても売れる商品に出会えないのが現状だったりします。～

私の場合、テレビ番組で成功した経営者の話を聞いて、「私もなんかしなきゃならん！」と熱くなりますが、すぐに、「あの社長には運と、人一倍の努力があったから成功したんだ」と、毎回、「すごい人もいるもんだな～」で終わってしまいます。

当然ながらこれでは、「運」をつかむことはできませんよね。「もしかしたらできるんじゃないか！」と考え実行する人だけが、「運」をつかんでいるはずです。そして1回目で「運」をつかむ人いれば、10回目のチャレンジで「運」をつかむ人もいます。

一見「運」も確率の問題で、1回目で「運」をつかんだ人のほうが「運」が高いように感じます。

しかし、1回で「運」をつかんだ人も、10回で「運」をつかんだ人も、必ず将来うまくいかない日を迎えることになります。

その時、1回で「運」をつかんだ人より、10回目に「運」をつかんだ人のほうが確実にV字復活するはず。10回目で「運」をつかんだ人は、9回分の失敗と努力と経験を積んでいるからです。



本当の意味で強い「運」をつかむには「人一倍の努力」は必然ではないかと思います。

そして、最終的に「運」をつかんだかどうかは、人生の後半にしかわかりません。

自分が満足でき、且つ会社も良い状態で引退することができて初めて、「運」が良かったと言えるのでしょう。

フロアの小ネタ部屋【推し活編】



【布教者：営業部 T】

私の推し！：藤井 風（世界で活躍するシンガーソングライター）

推し活歴：4年

きっかけ：友人に教えてもらった曲「優しさ」でした。

そこからYouTubeの過去動画を見てどんどん沼に…。

推しポイント：フリートークでは癒し系キャラみたいな話し方ですが、パフォーマンスになると全身で楽しんでいるのが伝わってくるし、キレがすごい！バンドメンバーやマネージャーとの関係性も素敵！

最近では忙しいスケジュールの中、日本で音楽番組やトーク番組などに出演して、これまで見せてこなかった魅力が多くの方に伝わっているのが嬉しいです。

しばらく国内でのライブはありませんが、以前「画面を通してでも直接聞いているのと同じぐらいのバイブスは届いていると思うし、届けたいと思っている」と風くんが話していた通り、離れていてもSNSに海外でのライブ映像がアップされていて、どこにいても常にパワーをもらえるので時代に感謝しています。

日経MJに当社の記事が掲載されました

2025年4月14日 日経MJ「竹内謙礼の顧客をキャッチ」に当社の記事が掲載されました。

取材の依頼がメールであり、インタビュアーの竹内謙礼さんのことは、以前からメルマガや著書を読んでいて知っていたので、迷いなくお受けしました。

オンラインで取材を受けたのは、はじめてのことでしたが竹内さんが約1時間色々な話を引き出してくださり当社が車検証入れの販売を始めたきっかけや現在のカたちになるまでの経緯などを記事にさせていただきました。

10年で約650社のインタビューをされている竹内さん、当社のごとも記事にしてくださり、ありがとうございました。これからも初心を忘れず精進していきたいと思います。

そして、ついに！2026年は日本でツアーが予定されています！約3年前に参加したアリーナツアーの時よりも倍率はすごいことになっていると思いますが当たることを願っています！

風くんのように、昨日よりも今日少しでもいい人、優しい人でいられるようにしたいです！

★気になった方はこちらをチェック！
Fujii Kaze 公式 YouTube→



次回は
誰が布教されるか
楽しみに！

編集後記

vol. 19をお読み頂きありがとうございます。楽しんでいただけましたか？今後も皆様に楽しんで頂ける紙面づくりを心掛けます。

今回は当社の働き方の記事でしたが、私もあまりの居心地の良さに10年以上お世話になっている古株の一人です。

よろしければ、ご意見・ご感想などお聞かせください♪ どうぞ次号もお楽しみに！！

ニュースライター担当 堀江